

第3章 東大阪の景観づくりの方針

3 - 1 東大阪らしさをつくるために

東大阪らしさを感じられる「まち」をつくる それは、東大阪の景観を成りたたせている景観構造を特徴づけ、眺め感じることをとおしてその景観構造を実感できるようにするために、まちを構成するさまざまな景観要素、つまり「感じる場」や「眺めるモノ」を調整することです。

(1) 景観構造を特徴づける

自然景・生活景・産業景・都心景といった景観構造はそれぞれ、住み・働き・学び・憩い・楽しむといった生活のありかたによって性格づけられ、それらの生活がまちと調和し、いきいきとしているとき、景観は良好な状態にあるといえます。

そこで、生活とまちを調和させ、東大阪の景観構造を特徴づけるために、自然景・生活景・産業景・都心景のひとつひとつをきわだたせ、それぞれの景観構造どうしを互いになじませながら、すべての景観構造をひとつにまとめてゆくことが大切です。

景観構造をきわだたせる

自然景・生活景・産業景・都心景それぞれの景観構造のちがいをあらわれている生活のありかたをより特徴あるものとして性格づける

景観構造をなじませる

異なる景観構造の間で性格のちがう生活どうしがぶつかりあわないように調和させる

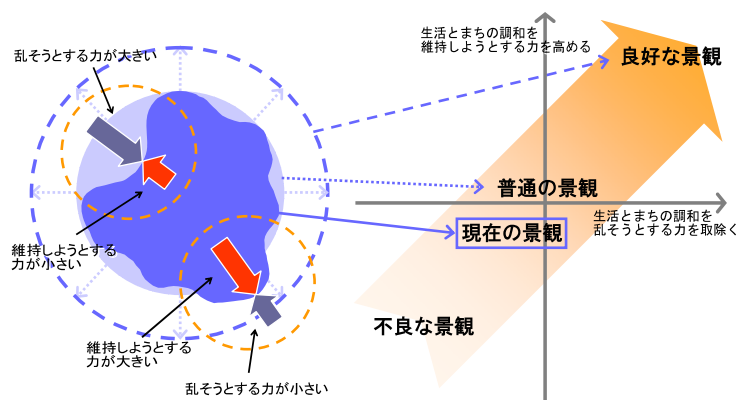
景観構造をひとつにまとめる

自然景・生活景・産業景・都心景としてあらわれている生活を、東大阪らしい生活のありかたのひとつひとつとして結びあわせ、ひとつにまとめる

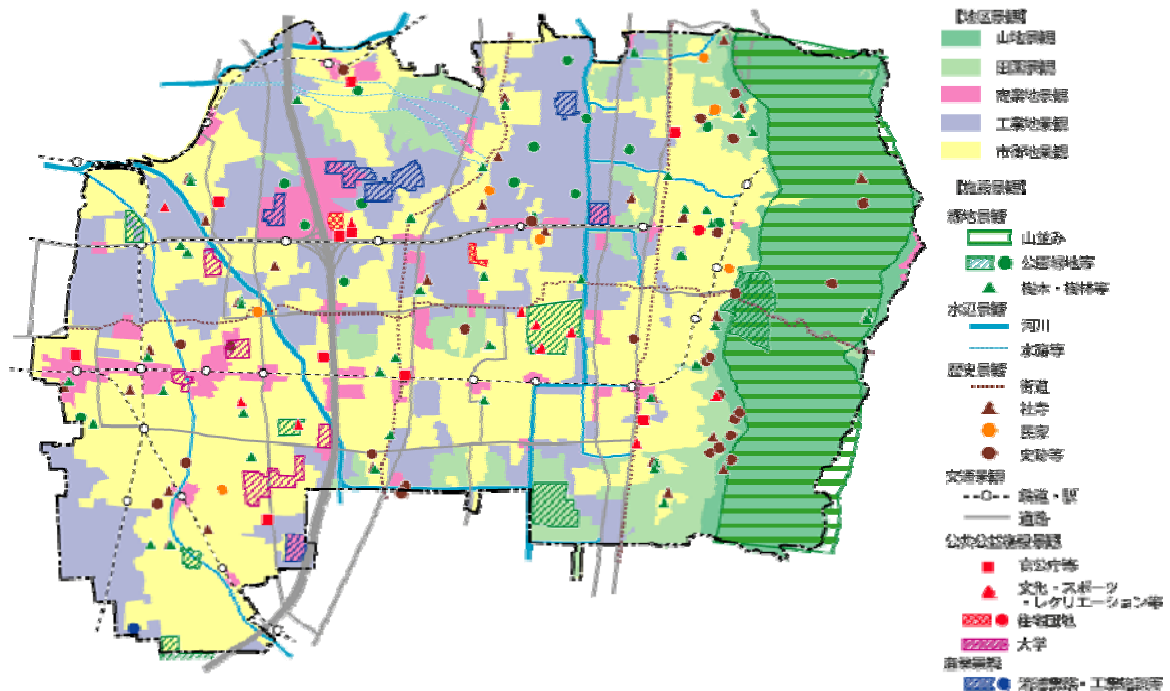
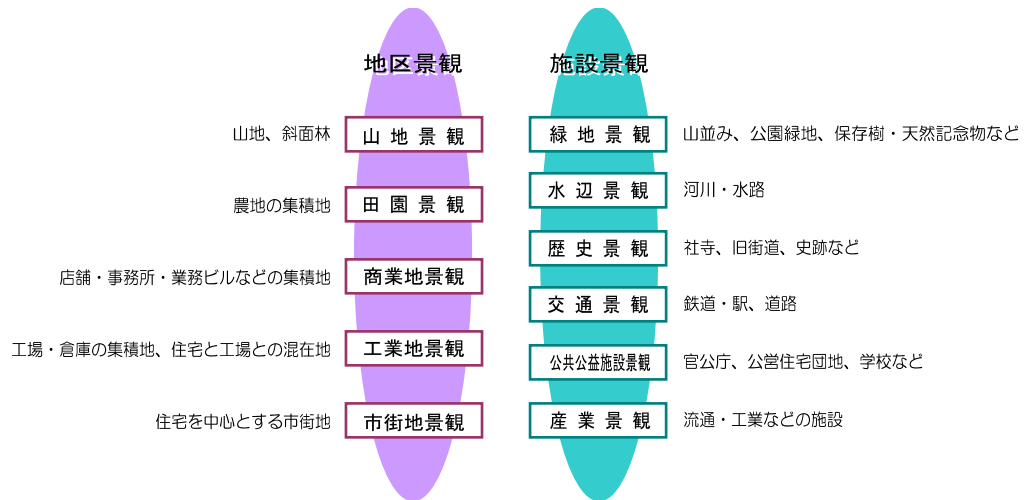
(2) 景観要素を調整する

景観は「まち」を眺め感じたものですが、「どこ」で「なに」を眺め感じたかによって、つまり「感じる場」や「眺めるモノ」のありかたによって、実感される景観はちがってきます。そこでは、生活とまちとの調和を維持しようとする力と乱そうとする力のふたつの力が働いて、そのバランスによって景観は良い状態にも悪い状態にも傾きます。

景観づくりでは、生活とまちの調和を維持しようとする力を高め、反対に乱そうとする力を

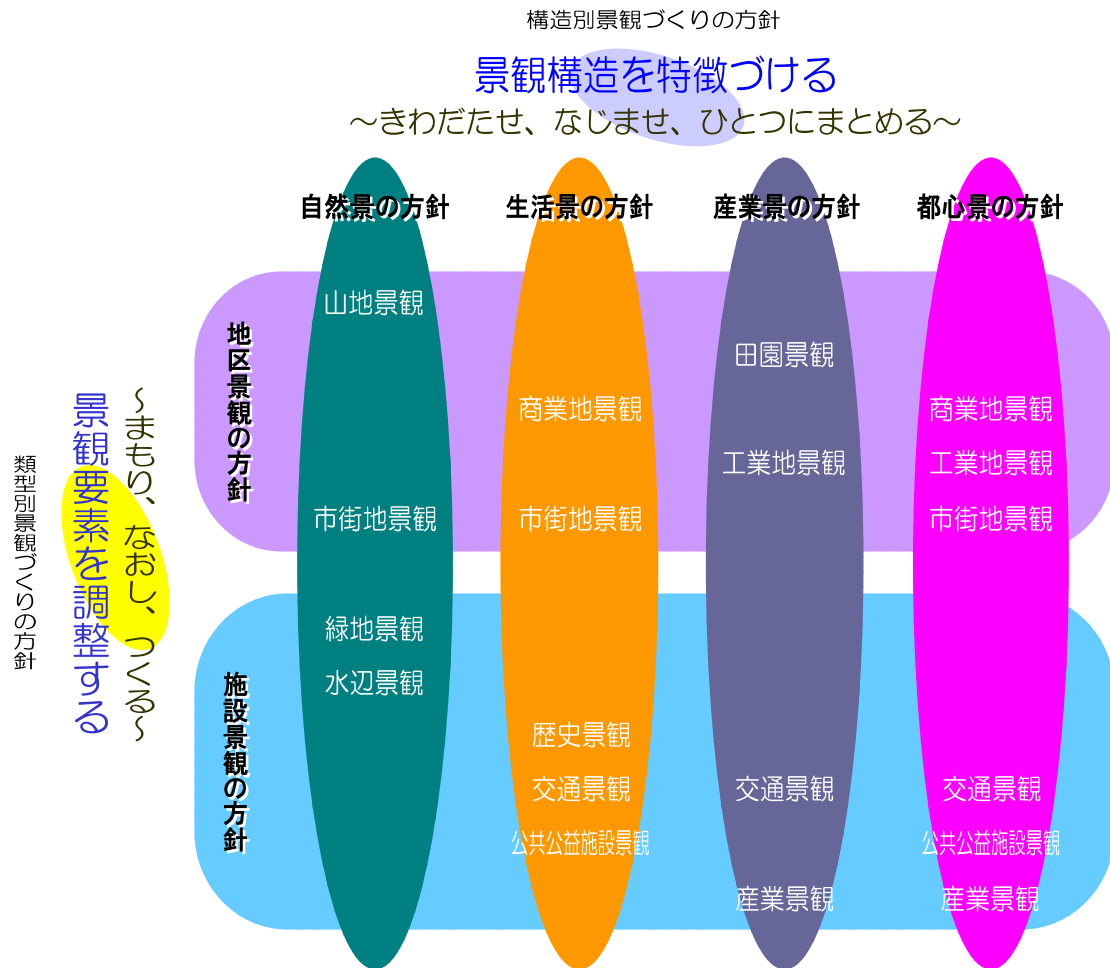


取除くために、「感じる場」や「眺めるモノ」といった景観要素を まもり つくり なおす ことで、調整してゆくことが大切です。このとき、「感じる場」や「眺めるモノ」を特徴が似たものどうしてまとめ、類型化して考えると便利です。そこで、「感じる場」を「地区景観」として5つの類型に、また「眺めるモノ」を「施設景観」として6つの類型に、それぞれ分類しています。



(3) 構造別景観づくりの方針と類型別景観づくりの方針

下の図は、それぞれの景観構造を特徴づける考え方を示した構造別景観づくりの方針と、そのために調整することが必要であると考えられる景観要素の類型ごとの方針との関連を示したものです。



東大阪らしさが感じられる「まち」をつかってゆくには、それぞれの景観構造でおこなわれている生活が、その構造にふさわしい特徴をもちながら、たがいに調和し、全体としてまとまりのなかにあることが大切です。たとえば、自然景では、水やみどりを眺め大地を足元に感じながら、自然のもたらすうるおいとやすらぎを味わっている。また生活景では、快適さや落ち着きのなかで日々の暮らしをおくり、まちのにぎわいのなかに人とのふれあいの温かさが伝わる。産業景では、モノづくりにたいする誇りにあふれ、いきいきと働く人びとの姿に活力がみなぎっている。また都心景では、人・モノ・情報が集まり交流し、にぎわいと活気が感じられる新しいまちが生まれようとしている。そして、このような人びとのいきいきとした生活が全体としてつながりあっている。

そのため、自然景・生活景・産業景・都心景を、きわだたせ・なじませ・ひとつにまとめることによって、東大阪の景観構造を特徴づけてゆくことが必要です。

景観構造を特徴づける

～きわだたせ、なじませ、ひとつにまとめる～

都心景

～東大阪の顔として
産業・生活文化交流新都心を創生する～

- 1 人びとが集まり交流するにぎわいと活気のある東大阪の顔をつくる
- 2 まとまりのある流通業務市街地の街並みをつくる

～「モノづくりのまち」の活力を演出し
住宅地との調和をつくる～

- 1 「モノづくりのまち」のイメージ向上をはかる
- 2 工場・倉庫の単調な街並みを改善し、住宅地との共存をめざす
- 3 のどかな田園風景をまもる

産業景

東大阪らしさをつくる

東大阪らしさの感じられる「まち」をつくる

基本方針 I

生活景

～住宅地に快適さとうるおいをもたらす
商業地に魅力とにぎわいをとりもどす～

- 1 うるおいとゆとりのある快適な住宅の街並みをつくる
- 2 歴史の感じられる落ち着きのあるたたずまいをまもる
- 3 人びとが集まりにぎわいと活気の感じられる商業地をつくる
- 4 「ラグビーのまち」「学生のまち」のイメージ向上をはかる

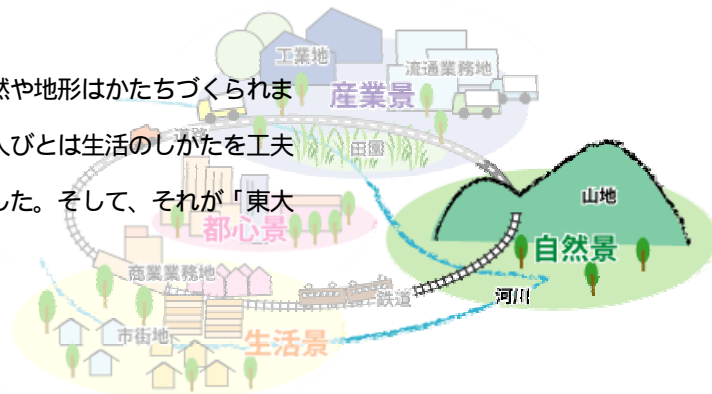
～生駒山と大和川がかたちづかった
自然や地形をいかす～

- 1 生駒の山並みと大和川の名残の地形をまもる
- 2 生駒山の貴重な自然環境をまもる
- 3 市街地にうるおいを創出し、水とみどりのネットワークを形成する

自然景

自然景の方針

生駒山と大和川によって東大阪の自然や地形はかたちづくられました。その自然や地形を土台として、人びとは生活のしかたを工夫し独自の産業や文化を生みだしてきました。そして、それが「東大阪らしさ」となってあらわれています。



自然景の特性と課題

東になだらかに連なる生駒の山並みは、市街地のどこからでも眺めることができ、自然のうらおいを視覚的に提供してくれる、東大阪固有のランドマークです。また、かつての大和川の名残は、ゆるやかに蛇行する川筋の小高くなった地形にみることができ、平らに広がる市街地に変化をつくっています。この「東大阪らしさ」がつくられた基盤である、生駒の山並みと大和川のかつての川筋の地形を保全してゆくことが大切です。

生駒山地は金剛生駒紀泉国定公園にも指定され、緑が少ない東大阪にとって、その豊かな自然はとても貴重です。枚岡神社をはじめ社寺・史跡・古墳群など歴史資源も多く、枚岡公園や府民の森・ハイキングコースが整備されて、レクリエーションの場として親しまれています。このため生駒山地は、自然と歴史にふれあえるレクリエーションの場として、さらに保全・活用してゆくことが望まれます。

いっぽう市街地では、高度成長期の都市化で身近な自然が失われ、旧集落や社寺に残る樹木・樹林が貴重な緑となっています。市街地に残る自然は保全・活用するとともに、自然の回復を図ってゆくことが大切です。また恩智川や第二寝屋川などの河川は、直線的で堤防が高くコンクリートで護岸されているため親水性に乏しいものの、小高くなった堤防や橋からは開放的な眺望が得られます。また長瀬川や大川、五箇水路・六郷水路などでは、修景や親水などの整備が進められています。このため河川や水路は親水性を高め、疎遠となった水辺空間との関係を回復するとともに、水とみどりのネットワークを形成することが大切です。

基本目標

生駒山と大和川がかたちづくった自然や地形を生活にいかす

基本方針

1 生駒の山並みと大和川の名残の地形をまもる

市街地から見える生駒の山並みをまもる（ 緑地景観）

大和川のかつての川筋の地形をまもる（ 市街地景観）



市街地から見える生駒の山並みは、東大阪ならではの風景です。

2 生駒山の貴重な自然環境をまもる

生駒山の自然環境を保全する（ 山地景観）

自然と親しめるレクリエーションの場をつくる（ 山地景観）



緑の少なくなった東大阪にあって、生駒山の豊かな緑はとても貴重です。

3 市街地にうるおいを創出し、水とみどりのネットワークを形成する

親しみやすいうるおいの空間をつくる（ 緑地景観、水辺景観）

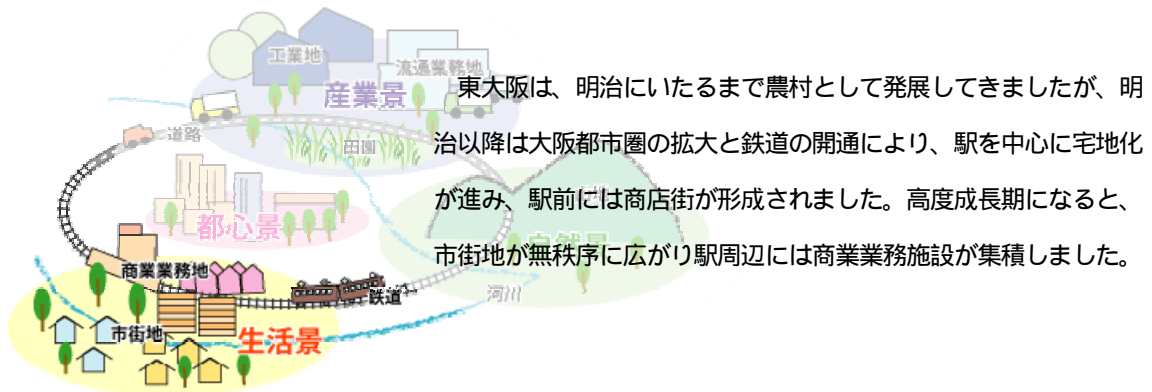
自然と親しめるレクリエーションの場をつくる（ 緑地景観）

市街地に水とみどりのネットワークを形成する（ 緑地景観、水辺景観）



日常生活のなかで身近に水や緑とふれあえる空間をつくるのが大切です。

生活景の方針



生活景の特性と課題

山麓は、早くから郊外住宅地として開発され、生駒の自然を背景に良好な住宅地が形成されています。いっぽう平地では鉄道沿線で市街化がすすみ、幹線道路の沿道や区画整理された地区のほかは、高度成長期に形成された密集住宅地が広がっています。山麓などの良好な住宅地は、緑豊かで閑静な街並みをまもり、そのほかの住宅地は、基盤整備や敷地規模などに応じて、防災性に配慮しながら、うるおいとゆとりを創出し、快適でまとまりのある街並みをつくってゆくことが課題です。

社寺・史跡・屋敷・大木などが残る旧集落は、どこか懐かしいたたずまいを見せています。けれども、敷地の細分化や建物の更新が進み、落ち着いた雰囲気は薄れつつあります。このため旧集落では、地域資源を保全・活用しながら、歴史が感じられる落ち着きのあるたたずまいをまもる必要があります。

いっぽう駅前は早くから商店街が発達し、布施駅から八戸ノ里駅に至る近鉄線に沿って中心商業業務地が形成されています。しかし、商店街では近年空洞化が進み、かつてのにぎわいを失いつつあります。中心商業業務地は、ふだんの買物ばかりでなく余暇を楽しみ人びとが交流できるような魅力の向上が必要です。また商店街は、地域の特色に応じて駅前空間を中心にかつてのにぎわいと活気を取りもどすことが課題です。

長瀬駅や河内小阪駅・八戸ノ里駅の周辺は、近畿大学・大阪商業大学・大阪樟蔭女子大学などが集まり、学生たちでにぎわっています。また近鉄花園ラグビー場では毎年全国高校ラグビー大会が開かれています。このように多くの大学が集まり、近鉄花園ラグビー場が立地するなど、東大阪の個性である「学生のまち」や「ラグビーのまち」のイメージを活かして、若々しさや活気を演出することが大切です。

基本目標

住宅地に快適さとうるおいをもたらし、商業地に魅力とにぎわいをとりもどす

基本方針

- 1 うるおいとゆとりのある快適な住宅の街並みをつくる
うるおいとゆとりの感じられる街並みを保全・創出する（市街地景観）
周辺の街並みとの調和をつくる（市街地景観、交通景観）
- 2 歴史の感じられる落ち着いたきのあるたたずまいをまもる
旧集落の落ち着いた街並みをまもる（市街地景観）
貴重な文化遺産をまもり活用する（歴史景観）
歴史に親しめる環境をつくる（歴史景観）
- 3 人びとが集まりにぎわいと活気の感じられる商業地をつくる
地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる
（商業地景観、交通景観）
商業地の魅力とにぎわいを演出する（商業地景観）
地域を代表する魅力のある施設をつくる（公共公益施設景観）
うるおいがあり調和のとれた沿道景観をつくる（交通景観）
- 4 「ラグビーのまち」「学生のまち」のイメージ向上をはかる
東大阪の個性を活かしたイメージ豊かなまちをつくる
（公共公益施設景観）



うるおいとゆとりの感じられる街並みをつくってゆくことが大切です。



昔ながらの懐かしいたたずまいを残してゆくことも必要です。



人びとが集い交流する商店街は、にぎわいと活気を感じられます。



「ラグビーのまち」を象徴する風景です。東大阪の個性をイメージ豊かに表現することが大切です。

産業景の方針

鉄道の開通とともに沿線では宅地化が進みましたが、駅から離れたところでは農地が広がっていました。戦後、大阪市の周辺で工場地が形成され、高度成長期になると、区画整理が実施され道路の整備が進むとともに、農地は工場や倉庫の街並みに変わってゆきました。



産業景の特性と課題

東大阪の工業は、鉄線・金網・作業工具・鋳物等の地場産業から興りました。戦後は、大阪工業圏の拡大により高井田や柏田・衣摺などで中小の工場が集積し、「モノづくりのまち」を象徴する地区が生まれ、全国有数の工業都市として発展しました。加納・水走地区では、加納工業団地等が誘致されるなど、新たな工業地として多くの工場が立地するようになりました。しかし近年、長引く不況などでかつての活力が失われ、工場跡地が宅地開発されるなど、操業環境は悪化しています。東大阪の個性である「モノづくりのまち」を象徴する工業地は、製造業の集積や連携を活かして、モノづくりの活力ある魅力を保全・創出することが大切です。

大阪枚岡奈良線や八尾枚方線・石切大阪線などの沿道では、早くから規模の大きな工場が立地していました。また高度成長期、築港枚岡線と大阪中央環状線・大阪外環状線などがあいついで整備されると、沿道には金物団地や被服団地・紙文具流通センター・機械卸業団地などが誘致され、倉庫や配送センターなどが多く立地するようになりました。こうした地域では、連続する工場・倉庫がつくる親しみのない無機質な雰囲気、また大規模な施設の単調につづく外観や圧迫感などを改善して、街並みにうるおいと変化を創出する必要があります。また高度成長期に、工場の立地と宅地化が急速に展開されたため、住工が混在する市街地が形成されましたが、こうした地域は、うるおいを創出するなど、住宅地との共存をめざす必要があります。

市域の東南部には、古代の条里制の地割を残す農地や扇状地にため池を利用した農地が広がっています。いっぽう市街地では農地が集積しているところもありますが、ミニ開発による住宅や駐車場などに変わりつつあります。これらの農地は、かつての農村風景を残す田園空間として保全し、市民が楽しみ交流できる空間として活用していく必要があります。

基本目標

「モノづくりのまち」の活力を演出し、住宅地との調和をつくる

基本方針

- 1 「モノづくりのまち」のイメージ向上をはかる
「モノづくりのまち」の魅力をつくる（工業地景観、産業景観）
単調な街並みに変化とうるおいをつくる（工業地景観）
- 2 工場・倉庫の単調な街並みを改善し、住宅地との共存をめざす
地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる
（商業地景観、産業景観）
周辺の街並みとの調和をつくる（交通景観、産業景観）
住宅地と調和のとれた工場地をつくる（工業地景観）
- 3 のどかな田園風景をまもる
のどかな田園風景をまもる（田園景観）
市街地に残された農地を活かす（田園景観）



デザインをこらした工場は、モノづくりの明るい未来を感じさせます。



ともすると単調になりがちな工場・倉庫の外観も、少し工夫することで印象が変わります。



田園風景は、東大阪の原風景です。こうしたのどかな風景をまもってゆくことも大切です。

都心景の方針

長田・荒本地区では、人・モノ・情報が交流する「産業・生活文化交流新都心の創生」をテーマに東大阪新都心としてまちづくりが進められています。



都心景の特性と課題

荒本地区では、近鉄東大阪線が開通すると、府営春宮住宅が建替えられ、府立中央図書館・東大阪市庁舎・クリエイションコア東大阪・大型店舗が建設されるなど、住宅・行政・業務・商業・文化などさまざまな都市機能の集積が進んでいます。高層の建物群が都会的なランドマークをつくりだしており、東大阪の新しい中心としてのイメージをつくってゆくことが大切です。そのため、多くの人が集まり交流する拠点としての魅力やにぎわいを快適な都市空間とともに創出し、新都心全体の景観の調和を図りながら都心にふさわしい洗練された景観をつくりだしてゆくことが課題です。

大阪中央環状線や築港枚岡線など広域交通を担う道路が交差する長田・本庄地区では、その立地を活かし、広域物流の拠点として紙文具流通センターや機械卸業団地・東大阪トラックターミナルなどが誘致され流通業務市街地が形成されています。流通業務団地の街並みにはまとまりがあるものの、緑が少なくうるおいに欠けています。流通業務市街地は、まとまりのある街並みのなかにも変化をつくり、うるおいを創出する必要があります。また広域幹線道路の沿道では、高架道路のスケール感と調和のとれたまとまりのある沿道景観を創出することが課題です。

基本目標

東大阪の顔として、産業・生活文化交流新都心を創生する

基本方針

1 人びとが集まり交流するにぎわいと活気のある東大阪の顔をつくる

東大阪の個性を活かしたイメージ豊かなまちをつくる

(公共公益施設景観)

地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる (商業地景観)

商業地の魅力とにぎわいを演出する (商業地景観)

うるおいがあり調和のとれた沿道景観をつくる (交通景観)

地域を代表する魅力のある施設をつくる (公共公益施設景観)

うるおいとゆとりの感じられる街並みを保全・創出する (市街地景観)



東大阪新都心では、市庁舎や東大阪春宮住宅・府立中央図書館などの特徴的な建物群によって個性的な街並みがつくられています。

2 まとまりのある流通業務市街地の街並みをつくる

地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる

(商業地景観、産業景観)

単調な街並みに変化とうるおいをつくる (工業地景観)

うるおいがあり調和のとれた沿道景観をつくる (交通景観)

周辺の街並みとの調和をつくる (産業景観)



流通業務団地では、連棟式の建物と広幅員道路によって、開放的な街並みがつくられています。

景観構造を特徴づけてゆくには、生活とまちの調和を乱そうとする力を取除き調和を維持しようとする力を高めるために、「感じる場」や「眺めるモノ」といった景観要素、つまり地区景観や施設景観を、まもり・なおし・つくることによって、調整してゆくことが大切です。

景観要素を調整する

～まもり、なおし、つくる～

地区景観の方針

山地景観

- 生駒山の自然環境を保全する
- 自然と親しめるレクリエーションの場をつくる

田園景観

- のどかな田園風景をまもる
- 市街地に残された農地を活かす

商業地景観

- 地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる
- 商業地の魅力とにぎわいを演出する

工業地景観

- 「モノづくりのまち」の魅力をつくる
- 単調な街並みに変化とうらおいをつくる
- 住宅地と調和のとれた工場地をつくる

市街地景観

- うらおいとゆとりの感じられる街並みを保全・創出する
- 旧集落の落ち着いた街並みをまもる
- 大和川のかつての川筋の地形をまもる
- 周辺の街並みとの調和をつくる

施設景観の方針

緑地景観

- 市街地から見える生駒の山並みをまもる
- 自然と親しめるレクリエーションの場をつくる
- 親しみやすいうらおいの空間をつくる
- 市街地に水とみどりのネットワークを形成する

水辺景観

- 親しみやすいうらおいの空間をつくる
- 市街地に水とみどりのネットワークを形成する

歴史景観

- 貴重な文化遺産をまもり活用する
- 歴史に親しめる環境をつくる

交通景観

- 地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる
- うらおいがあり調和のとれた沿道景観をつくる
- 周辺の街並みとの調和をつくる

公共公益施設景観

- 東大阪の個性を活かしたイメージ豊かなまちをつくる
- 地域を代表する魅力ある施設をつくる

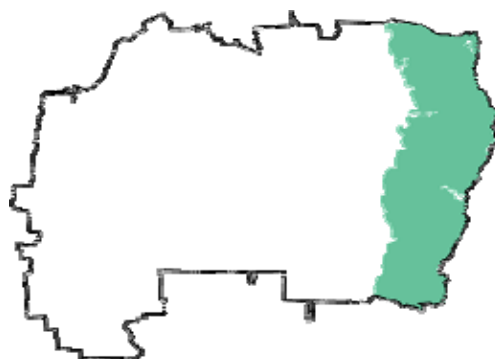
産業景観

- 地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる
- 「モノづくりのまち」の魅力をつくる
- 周辺の街並みとの調和をつくる

山地景観

生駒山地は金剛生駒紀泉国定公園・近郊緑地保全区域に指定され、さまざまな生き物が生息するみどり豊かな環境はとても貴重です。また枚岡神社のほか社寺・史跡・古墳群などがたくさん残っています。

枚岡公園や府民の森・ハイキングコースなどが整備され、自然のうるおいとやすらぎを身近に感じることができるレクリエーションの場として親しまれ、大阪の市街地を一望することができます。



生駒山から市街地を望む



緑あふれる生駒山



慈光寺
(府・名勝)

《基本方針》

(生駒山の自然環境を保全する)

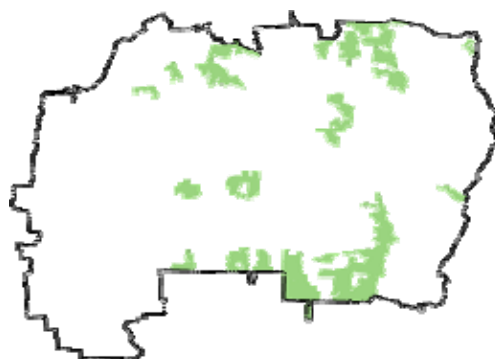
- 山地の樹林・樹木・溪流など貴重な自然を保全する
- 生態系に配慮し、さまざまな生き物がすめる環境を保全する
- 山地に残る歴史資源の背景としての自然を保全する

(自然と親しめるレクリエーションの場をつくる)

- レクリエーション施設を整備するなど自然とふれあい親しめる環境をつくる
- ハイキングコースや展望台などで市街地を見下ろす眺望点を整備する

田園景観

市域の東南部には、生駒山を背景として農地が広がり、農村社会から発達してきた東大阪の原風景として、かつてのどかな農村風景を残しています。池島では古代の条里制の地割を残す農地が整然と広がり、また横小路では扇状地のため池を利用した農地が広がっています。



いっぽう市街地で生産緑地など農地が多く集まっているところは、緑が少ない市街地にあって開放感とうるおいを与える貴重な緑地となっていますが、住宅や工場・倉庫・駐車場などへの転換がすすんでいます。



条里制跡に広がる農地



山麓の傾斜地に広がる農地



市街地内の生産緑地

《基本方針》

(のどかな田園風景をまもる)

農地と周辺の集落・ため池などを一体的に保全する

開発や建築に際して周辺の田園風景に調和するように配慮する

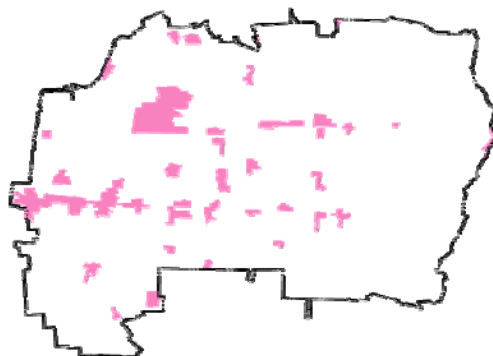
(市街地に残された農地を活かす)

緑が少ない市街地にうるおいとやすらぎを与える農地を保全する

市民農園として利用するなど、市民が交流できるレクリエーションの場として農地を活用する

商業地景観

布施駅から八戸ノ里駅までの近鉄沿線に広がる中心商業業務地は、商業業務ビルなどが建ち並び、人通りも多く活気やにぎわいを感じられます。いっぽう早くから駅周辺のにぎわいをつくってきた商店街は近年、商圏の変動や高齢化・量販店の進出などにより空洞化が進み、その活気を失いつつあります。



紙文具流通センター・機械卸業団地・金物団地など特定卸業の集積は、高度成長期、広域交通の整備とともに発展した東大阪の商業形態を反映しています。連棟式の建物でまとまりのある街並みですが、ともすると単調になりがちで、また自然のうらおいに欠けます。

また新都心・荒本地区では、市庁舎や東大阪春宮住宅・府立中央図書館・クリエイションコア東大阪・大型店舗などが立地し、住宅・行政・業務・商業・文化などさまざまな都市機能が集積する新都心として整備が進んでいます。



布施駅前の商店街



河内花園駅前の商店街



紙文具流通センター

《基本方針》

(地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる)

市庁舎周辺は、多くの人が集まり交流する拠点として、魅力とにぎわいを快適な都市空間とともに創出する

駅前周辺は周辺の建物デザインを調和させるなど、地域の特色を活かし街並みの魅力を向上させる

特定業種が集積する地区は、その特性を活かし、まとまりのある街並みを創出する

(商業地の魅力とにぎわいを演出する)

建物低層部のデザイン、舗装や植栽の工夫、看板・広告物の整理・統合などにより、歩行者空間の連続性をつく

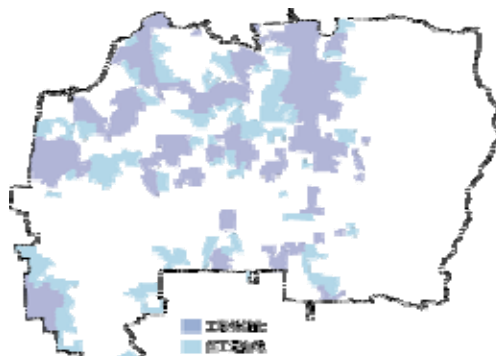
り一体感のあるにぎわいを演出する

商店街は、店舗のデザインや装飾・看板など地域ごとにまとまりをもたせ魅力の向上を図る

空き店舗の活用やイベントの実施など集客性の向上によるにぎわいや活気を創出する

工業地景観

高井田や柏田・渋川町では、耕地整理による整形な街区に中小の工場がたくさん集まり、「モノづくりのまち・東大阪」を特徴づけています。また幹線道路の沿道や大規模な区画整理がおこなわれた地区では、比較的規模の大きな工場や倉庫などが集まり、外観が単調でうるおいに欠けています。近年になって、移転や廃業した工場の跡地が宅地に開発され、新たな住工混在問題を生んでいます。



工業地の周辺、とくに早くから中小工場が集積していたところの周辺などでは、高度成長期に工場の立地と宅地化が急速に展開されたため、住工が混在する市街地が形成され、雑然として混乱したイメージが生じています。



柏田の工場街



高井田の町工場



住工が混在する街並み

《基本方針》

（「モノづくりのまち」の魅力をつくる）

中小工場群は製造業の集積と連携を活かし、「モノづくりのまち」として、まとまりのある街並みをつくる
モノづくりの現場を体験・見学できるなど、市民との交流ができるような機会をつくる

（単調な街並みに変化とうるおいをつくる）

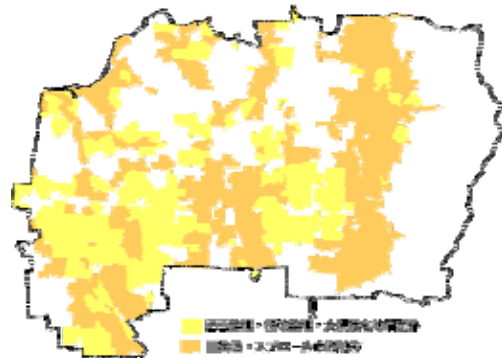
壁面のデザインの工夫などにより外構部を改善し、緑化によってうるおいを創出する

（住宅地と調和のとれた工場地をつくる）

住宅と混在する工場は、施設のデザインの工夫や緑化の推進などで周辺の住宅地との調和を図る
都市型工業への転換を促し、周辺の生活環境への負荷を小さくする

市街地景観

区画整理や大規模な宅地開発が実施された地区は、格子状に道路が配置され、良好な住宅地をつくっているところもあり、公営住宅団地など中高層住宅が建ち並んでいるところもあります。また山麓では、郊外住宅地として生駒の自然を背景に落ち着いた街並みが形成され、一部は風致地区にも指定されています。いっぽう耕地整理された地区では、高度成長期にミニ開発が進み、防災上課題のある密集市街地を形成しているところもあります。



旧集落は社寺・史跡等多くの歴史資源が残り、樹木などとともに落ち着いた雰囲気となっているものの、敷地の細分化や建物の更新が進むなかで、地域の個性は薄れつつあります。また、かつての大和川の河道が宅地化された地区は、蛇行する川の緩やかな曲線に沿って街区が形成され、周辺より小高くなっているのが特徴です。高度成長期以降、基盤が整わないまま形成された市街地は、街区形態が定まらず比較的狭小な住宅が密集し、うるおいとゆとりに欠けます。



緑豊かで閑静な街並み



生垣がつづく住宅地



長田の旧集落

《基本方針》

(うるおいとゆとりの感じられる街並みを保全・創出する)

山麓の良好な住宅地は、生駒山の緑を背景とする落ち着いた街並みを保全する

壁面後退や空閑地の活用などによりゆとりをうみ、生垣・庭木・プランターなどによりうるおいを創出する

(旧集落の落ち着いた街並みをまもる)

旧集落では、新築・建替等の際に周辺と調和させ落ち着いた街並みの連続性を保つ

(大和川のかつての川筋の地形をまもる)

周辺の街並みに変化を与える旧大和川の地形を保全する

(周辺の街並みとの調和をつくる)

新築・建替時は周辺の景観に配慮し、建物のデザインの調和を図る

マンション等の建設時には、周辺の低層の街並みや歴史的環境との調和に配慮し、うるおいとゆとりを創出する

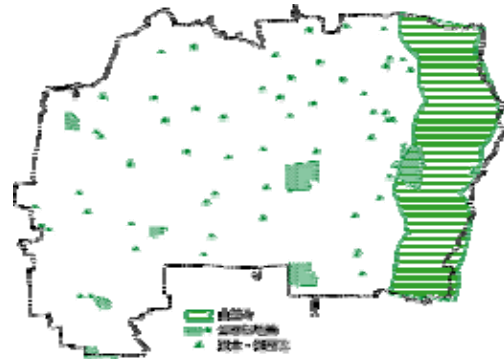
電柱・標識などを設置する位置や広告物のデザインなどに配慮する

緑地景観

《主な景観資源》

生駒の山並み 公園・緑地、治水緑地など
保存樹・保存樹林、天然記念物など

屏風のように連なる生駒の山並みは、市域のどこからでも眺めることができ、その緑を眺望として取りこむことで市街地に視覚的な緑を増やすことができます。



枚岡公園・花園中央公園・久宝寺緑地など大規模な公園緑地は、市民のレクリエーションの場として親しまれ、また恩智川治水緑地や花園多目的遊水地は、恩智川の河川空間と一体となったレクリエーションの場として期待されます。

いっぽう都市化が進んだ市街地では、身近な公園緑地や緑道などが市民や働く人たちの憩いの場となっています。また社寺や民家の樹木が保存樹などに指定されて歴史的なイメージに深みを与えるとともに、天然記念物の枚岡の原始ハスや日下のヒトモトススキなどが貴重な自然資源となっています。



第二寝屋川の橋から見る生駒の山並み



東石切公園



天神社のくすのき
(市・天然記念物)

《基本方針》

(市街地から見える生駒の山並みをまもる)

生駒山を見通す道路や河川などからの眺望を保全・演出する

マンション等の建設時は、周辺の市街地からの生駒の山並みへの眺望に配慮する

(自然と親しめるレクリエーションの場をつくる)

大規模な公園緑地は、豊かな緑とふれあえるレクリエーションの場として活用する

治水緑地は、恩智川の河川空間と一体となった親水性の高いレクリエーションの場として活用する

(親しみやすい憩いの空間をつくる)

市街地に憩いをもたらす身近な自然に親しめる憩いの場として、公園緑地や緑道等の整備を進める

市街地に残る大木や樹林地は身近な自然として保全し、開発時には現状の自然を活かすよう工夫する

(市街地に水とみどりのネットワークを形成する)

緑道等により市街地に点在するみどりをネットワークする

水辺景観

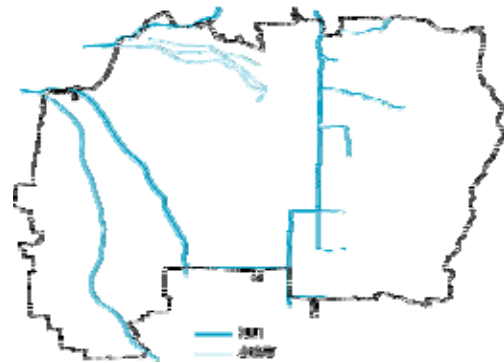
《主な景観資源》

恩智川・第二寝屋川・寝屋川など

長瀬川・五箇水路・六郷水路など

恩智川や第二寝屋川などは、コンクリートで護岸されているため親水性に乏しく、高い堤防は平らな市街地を地形的に分断しています。しかし、その堤防や橋の上は小高く見通しが利きます。

長瀬川や五箇水路・六郷水路・鴻池水路などは一時期ドブ川化していましたが、水質の向上や親水空間の整備によって、うるおい空間としての機能を高めつつあります。また、生駒山地を水源とする小河川には、生駒の自然を市街地へ引込む大切な役割があります。



恩智川



長瀬川



生まれかわった鴻池水路
(鴻池四季彩々とおり)

《基本方針》

(親しみやすいうるおいの空間をつくる)

河川の親水性を高めるため、沿岸の緑化や遊歩道・憩いの場等の整備を図る

散策路を整備し橋のデザインを工夫するなど、堤防や橋の上からの眺望を楽しむ場を確保する

水質の向上や護岸の工夫などにより生き物のすめる川づくりをめざす

(市街地に水とみどりのネットワークを形成する)

河川の沿岸を緑化するとともに周辺にある公園・緑地などをつなぎ、うるおいの軸を形成する

使わなくなった水路跡地の緑道化・遊歩道化を進めネットワークの形成を図る

歴史景観

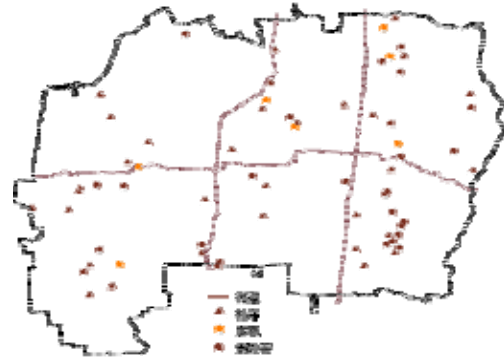
《主な景観資源》

鴻池新田会所などの文化財

石切劔箭神社・枚岡神社・往生院などの神社・寺院

谷岡記念館・旭町庁舎などの近現代の建築物

東高野街道・暗越奈良街道などの旧街道



鴻池新田会所は新田開発の歴史を伝える貴重な文化遺産

です。石切劔箭神社や枚岡神社は多くの参拝客でにぎわい、境内林が豊かな自然を残しています。また往生院や慈光寺などが歴史の重みを感じさせるいっぽうで、谷岡記念館や旭町庁舎など近現代の歴史的な価値のある建物が市街地にあります。

社寺や史跡などが旧集落を中心に点在し、東高野街道や河内街道などの旧街道が旧集落や周辺の歴史資源を結んでいます。ほかに中世に栄えた寺院や辻子谷の石仏群、また古墳群などが生駒の自然に守られるように多数残っています。



枚岡神社本殿
(市・指定文化財)



長栄寺禅那台
(府・指定文化財)



昭和初期に建てられた木製鎧壁の理容店の理容店

《基本方針》

(貴重な文化遺産をまもり活用する)

生駒山の暗峠や社寺・古墳・史跡などの歴史資源は、背景となる生駒の自然と一体的な保全・活用を図る
鴻池新田会所は新田開発の歴史を伝える資源として、周辺の水路や遊歩道などと連携し保全・活用する
社寺・屋敷・史跡など貴重な歴史資源は、大木・樹林などの自然資源とあわせて保全・再生につとめる
歴史的価値がある建造物など新たな資源を発掘・保存するとともに、生活のなかに活かす工夫をする

(歴史に親しめる環境をつくる)

大和川の旧河道や旧街道を軸として、その沿道の旧集落の街並みや史跡・道標等をつなぎ保全・再生する
案内板・説明板の設置や散策ルートの整備などにより歴史に親しめる環境をつくる

交通景観

《主な景観資源》

近鉄奈良線・近鉄大阪線・大阪外環状線鉄道など

近畿自動車道・阪神高速道路など

大阪中央環状線・築港枚岡線・大阪外環状線など



鉄道は、東大阪の骨格をつくる重要な要素ですが、地上を走る鉄道が地域を分断する要素となっているいっぽう、高架鉄道の構造物は周囲に圧迫感を与えます。市内には多くの駅がありますが、地域の中心となっていて、とくに布施駅前や若江岩田駅前などでは再開発ビルが地域の顔となっています。

自動車専用道路の高架構造物は圧迫感を与え、とくに荒本ジャンクションは圧倒的な存在感をもっています。また大阪中央環状線・築港枚岡線などは東大阪の空間構造を決定する骨格的なイメージを形成しています。そのほか都市計画道路は、その整備によって周辺地域の雰囲気を変えてしまうことがあります。



阪神高速道路の下を走る近鉄東大阪線



近鉄瓢箪山駅前のせせらぎ水路



近畿自動車道の高架構造物

《基本方針》

(地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる)

鉄道駅は、地域の特色を活かし、にぎわいのなかにまとまりのある駅前空間をつくる

沿道施設と歩道との一体的整備や緑化などにより、うるおいとゆとりの感じられる快適な歩行者空間をつくる

(うるおいがあり調和のとれた沿道景観をつくる)

幹線道路などの沿道では、建物のデザイン誘導や緑化などにより沿道景観の魅力の向上を図る

沿道の電柱・標識・看板・広告物等を整理・統合し、すっきりとした沿道景観をつくる

(周辺の街並みとの調和をつくる)

高架構造物や鉄道敷周辺は、デザインの工夫やフェンスの修景、緑化などにより周辺との調和につとめる

道路の整備にあたっては、沿道建物のデザインの誘導や街路樹等により周辺に与えるインパクトを緩和する

公共公益施設景観

《主な景観資源》

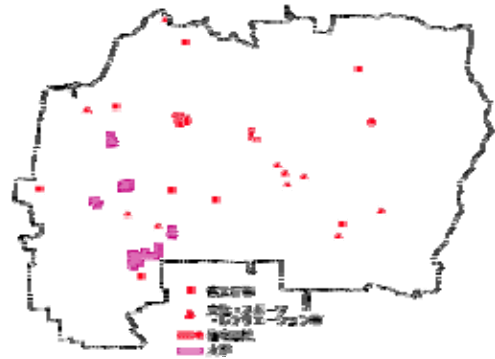
市庁舎・リージョンセンターなど

司馬遼太郎記念館・府立中央図書館など社会教育・文化施設

近鉄花園ラグビー場・東大阪アリーナなどスポーツ・レクリエーシ

ョン施設

住宅団地・大学など



市庁舎などの公共施設は多くの市民が利用するため、ランドマークとしての役割が大きく、とくにリージョンセンターは地域性を活かした建物がつくられています。また司馬遼太郎記念館は、市外からもたくさんの方が訪れ、新たな文化発信の拠点となっています。ドリーム21や市民美術センターなどが立地する花園中央公園には、高校ラグビーのメッカ・近鉄花園ラグビー場があります。

そのほか東大阪春宮住宅や東大阪吉田住宅などはデザインが工夫された建物群です。また近畿大学・大阪商業大学・大阪樟蔭女子大学などの周辺は、若者たちが集まり明るく活気が感じられます。



市立花園図書館



市民美術センター
(花園中央公園内)



東大阪吉田住宅

《基本方針》

(東大阪の個性を活かしたイメージ豊かなまちをつくる)

市庁舎や東大阪春宮住宅など高層建築物は、新都心のランドマークとして周辺からの眺望に配慮する

近鉄花園ラグビー場は、「ラグビーのまち」を象徴する施設として、地域イメージの向上に役立てる

大学とその周辺は、「学生のまち」として、若々しい活気を創出する

(地域を代表する魅力のある施設をつくる)

利用者の多い公共施設等は、地域を代表する施設として、質の高いデザインをめざす

公共施設等には、花・緑・水・彫刻などをあしらうなど、うらおいや文化が感じられる開放的な空間をつくる

公共施設等の整備にあわせ、新しくイベントの開催ができるなど市民が交流できる場の整備に努める

産業景観

《主な景観資源》

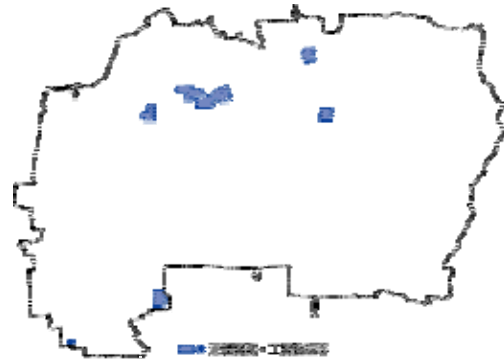
東大阪トラックターミナル

紙文具流通センター・機械卸業団地・金物団地など

加納工業団地、ノムラドーム 21 など

紙文具流通センターや機械卸業団地・金物団地などはまとまりのある外観をもち、東大阪トラックターミナルは物流の拠点として産業活動の表現となっています。

加納工業団地などの工場群が「モノづくりのまち」を象徴しています。また大蓮のノムラドーム 21 など工夫をこらした建物が地域の活力を表現しています。



機械卸業団地



金物団地



東大阪トラックターミナル

《基本方針》

(地域の特性を活かしたまとまりのある街並みをつくる)

特定業種の工場・問屋の集積がつくるまとまりが感じられる街並みを保全・創出する

(「モノづくりのまち」の魅力をつくる)

「モノづくりのまち」のイメージ向上を図るため魅力ある施設づくりにつとめる

沿道から作業風景が見えるよう工夫をするなど、モノづくりの活力を見せる演出をする

(周辺の街並みとの調和をつくる)

大規模な産業施設は、建物のデザインの工夫や周辺の緑化等により圧迫感を和らげる

敷地周辺の緑化や外構部の工夫などによりうおいと変化を創出する

